

# 令和2年度 保育計画

保育理念	乳児施設として子供の最善の利益を考慮し一人一人が安心して、心地よくすごせるよう努める。			保育方針	3才未満の大切な時期を保育士等(保育に携わる全ての保育所職員)一丸となって十分な愛情と環境の中で健康な心と体を育む。 保護者と共に、子供の成長を喜び共有する。
保育目標	よく食べ、よく寝て、よく遊び、健康な心と体を育む。			社会的責任	人権の尊重、地域との交流連携、説明責任、個人情報保護、苦情解決。
				地域の実態に対応した事業	延長保育事業、一時保育事業、子育て家庭育児支援事業。
子どもの保育目標		元気な子ども、自ら考え行動する子ども。			
		生後8週～6か月未満	6か月～1歳3か月未満	1歳3か月～2歳未満	2歳児
養護	生命の保持	家庭との連絡を密にとりながら、一人一人が心地よいと感じるリズムで生活できるようにする。	子どもの生活リズムに応じて、授乳、睡眠、食事など意欲的にできるように適切に援助する。	保育士等との信頼関係を育みながら快適な生活や生理的欲求を満たすことが出来るようにする。	基本的な生活習慣の習得を個々に合わせて援助し、一人でできた喜びを味わい、自信が持てるようにする。
	情緒の安定	子どもの欲求を適切に満たしながら応答的なふれあいや言葉かけを行い、安心して過ごせるようにする。	一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら、子どもの継続的な信頼関係を築いていく。	保育士等との信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表す事ができるようにする。	温かく、受容的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生えるようにする。
教育	健康	保育士等の愛情豊かな受容の下で生理的、心理的欲求を満たし心地よく生活する。	一人一人の発育に応じて、はう、立つ、歩くなど、十分に体を動かす。	身の回りの簡単なことを自分でしようとする気持ちが芽生える。	身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身に付く。
	人間関係	安心できる関係の下で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。	身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。	保育士等に見守られながら、身近な大人や子どもに関心を持ち関わろうとする。	保育士等の受容的、応答的な関わりの中で友達と共に過ごす心地よさを感じる。
	環境	安心できる人的、物的環境のもとで、聞く、見る、触れるなどの感覚を心地よく感じる。	生活や遊びの中で様々なものに触れ、音、形、手触りなどに気付き、感覚の働きを豊かにする。	好きな玩具や遊具に興味を持ち様々な遊びを楽しむ。	探索活動を通して、様々な感覚の働きを豊かにする。
	言葉	保育士等による語りかけや歌いかけにより、発声や喃語等を優しく受け止めてもらい、やり取りを楽しむ。	生活や遊びの中で、自分の身近な人の存在に気付き、親しみの気持ちを表す。	保育士等による語りかけや歌いかけ、発声や喃語等への応答を通じて、言葉の理解や発語の意欲が育つ。	生活や遊びの中で、簡単な言葉のやり取りを楽しむ。
	表現	保育士等のあやし遊びに機嫌よく応じて、表情や手足、体の動き等で表現する。	保育士等のあやし遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しんだりする。	生活や遊びの様々な体験を通して、聞く、見る、触るなどの感覚を楽しむ。	生活や遊びの中での出来事を通して、イメージを豊かにして自分なりに表現する。
食育	食を営む力の基礎	よく遊び、お腹のすくリズムをつくり、意欲的に食べる。			
健康支援	健康状態、発育発達状態の定期的、継続的な把握。 嘱託医による内科健診(年2回) 歯科健診(年1回)、看護日誌、虐待の予防発見、登園許可証の提出、与薬依頼書提出、入園前の面接、救急箱常備点検。			保育の特色	お散歩保育・・・「お散歩保育を通して自然に親しみ心身共に健やかな発達をめざす」 給食へのこだわり・・・「だしを利かせた薄味で安全な食材を求め一人一人に寄り添った給食の提供」
環境衛生管理	施設内外の設備用具等の清掃および消毒、オゾン消毒機の設置、温度湿度計の設置、食中毒予防対策マニュアル明記。 嘔吐、下痢対処法マニュアルの明記。感染症対応マニュアルの明記。			研修計画	園内研修。 外部研修(県保育協会、市保育協会、全国九州保育三団体、保健所、日本保育園保健協議会)。
安全対策事故防止	毎日→お昼寝点検、遊具の安全点検、防災無線確認 毎月→避難訓練、消火訓練、通報訓練、交通安全教室(隔月) ・年2回→防災無線、消防点検、心肺蘇生法、アナフィラキシー搬送訓練、安心メール。 ベビーセンスによる乳児の安全対策。散歩経路、公園の情報収集。			地域との連携	子育て家庭への園の開放、子育て等に関する相談や援助、一時保育、子育て家庭の交流の場の提供及び交流の促進、子育て支援に関する情報の提供。
保護者への支援	連絡帳での相談、支援。送迎時の子育て相談、支援。 保育参加、保護者会。 延長保育、苦情処理、子育て家庭育児支援、中高生職場体験、保育実習、ホワイトボードの活用。			自己評価	年2回